

東京 2020D&I アクション

-誰もが生きやすい社会を目指して-

東京 2020 大会は、その大会ビジョン「スポーツには世界と未来を変える力がある。」の基本コンセプトとして「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」を掲げています。「東京 2020D&I アクション -誰もが生きやすい社会を目指して-」も、これらの考えに基づいています。

新型コロナウイルス感染症による新たな差別や格差の拡大といった社会の分断が深まる中、大会に参画する多様な個性がある多くの方が、自分らしさを発揮して、違いを認め合い、違いを活かしながら協力することのすばらしさを改めて認識する場が、東京 2020 大会です。

私たち一人ひとりには、人種、肌の色、性別、性的指向、性自認、障がい、言語、宗教、政治的又はその他の意見、国あるいは社会のルーツ、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別がなく、互いを認め合い、誰もが自分らしく生きられる共生社会を目指します。

東京 2020 大会を契機として、私たちの社会と未来に向けて何ができるかを考え、大会後も実践していくものとして、私たちのアクションを宣言します。

- 「パラスポーツを普及拡大する」取り組みと、「競技力の向上を図る」取り組みを「好循環」させることによる「パラスポーツの振興」を通じて、多様性を認め合う「活力ある共生社会の実現」を目指します。
- 障がいの有無、性別、年齢、国籍や、価値観、性格の違いなど多様性を尊重し、誰もが個性を発揮して活躍できる社会の実現を、関係者に働きかけていきます。
- 障がいのある全ての方が、スポーツの価値を共有できるようにするとともに、パラスポーツを通じて、社会の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加を広げます。

2021年8月18日

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会

会長 鳥原光憲